

はじめに

本報告書は、NFRJ-S01 の第二次報告書である。NFRJ-S01 は、日本家族社会学会の全国家族調査委員会のもとで、平成 13・14 年度の日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究 A : 13301010) を得て実施した調査である。

2003 年 3 月に刊行した第一次報告書においては、家族経歴と家族イベントごとのコーホート比較の基礎的な集計結果にもとづいて、上記の科学研究費補助金による研究組織に参加したメンバーが報告文を寄せた。また、2003 年 9 月の日本家族社会学会第 13 回大会(大阪市立大学)のテーマセッションにおいては NFRJ-S01 の成果の一部を第一次報告書を展開するかたちでを報告することができた。

この間、研究組織メンバーによりデータクリーニングが続けられた。データクリーニングの終了をみた 2003 年 10 月より日本家族社会学会会員への個票データの公開が開始された(経歴データについては 2004 年 8 月から公開)。本報告書には、このデータ公開に参加した日本家族社会学会会員による分析結果が収録されている。

NFRJ-S01 の調査枠組みは、特定の理論や仮説の検証というより、戦後日本の家族の変化と持続の把握を目的に組まれた。本報告書所収の論文は、このような枠組みで得られたデータの分析結果であり、家族生活の諸側面における変化と持続についての知見を提示している。これらの知見は、戦後日本の家族に関する研究における新たな地平を拓く資源になると期待される。今後、NFRJ-S01 データは SSJDA に寄託して一般公開の運びになるが、多くの方々の家族研究の展開に寄与することを願っている。

顧みると、調査の準備段階、実査、データ整理、集計分析、それぞれのプロセスにおいて、多くの方々から支援と協力をいただいた。深く感謝する次第である。

2005 年 3 月

科学研究費補助金研究組織当時の研究代表者として
熊谷 苑子